

## ネイティブバチルス属 サルコシンオキシダーゼ

Cat. No. NATE-0664

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** サルコシンオキシダーゼは、サルコシンの酸化的脱メチル化を触媒し、グリシン、H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>、5,10-CH<sub>2</sub>-テトラヒドロ葉酸を生成する酵素（EC 1.5.3.1）であり、この反応にはH<sub>4</sub>-テトラヒドロ葉酸と酸素が必要です。コリネバクテリウムのサルコシンオキシダーゼはヘテロテトラマーであり、コリネバクテリウム属がサルコシンを炭素とエネルギーの供給源として成長させるときに誘導酵素として生成されます。

**用途** サルコシンオキシダーゼは、固定化されるとアンペロメトリックバイオセンサーを構築する多酵素カスケードの一部として研究に使用されました。サルコシンオキシダーゼは、フラボプロテインによるアミンの酸化を調べる研究にも使用されました。

**別名** サルコシンオキシダーゼ; EC 1.5.3.1; 9029-22-5; サルコシン:酸素オキシドレダクターゼ (脱メチル化)

### 製品情報

**由来** バチルス属

**形態** 凍結乾燥粉末; 安定剤は添加されていません

**EC番号** EC 1.5.3.1

**CAS登録番号** 9029-22-5

**活性** 25-50 ユニット / mg 固体

**単位定義** 1ユニットは、pH 8.3、37°Cでサルコシンから1分あたり1.0 μmoleのホルムアルデヒドを生成します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°C